***2019年度　「研究開発型ベンチャー支援事業／***

***NEDO Entrepreneurs Program (NEP)」公募***

***提案書作成にあたって（提案様式）***

***総括的注意***

注１．提案書は、添付書類を含め、全てＡ４サイズとしてください。（会社案内等もＡ４サイズでない場合は、Ａ４サイズにコピーしてください）

***注２．各部（正１部、写し１０部）ごとに左上をダブルクリップで止めてください（ホッチキス等で綴じたり、製本したりしないでください）。また全てに縦二穴パンチ穴をあけてください。***

***注３．提案書の項目を削除しないでください。（ただし、本ページ及び次ページ以降青字イタリック体で記入されている提案書の注意事項及び記載例は、削除してください）***

***注４．特に注意がない場合は、項目間の行間は、適宜変更してください。***

***注５．記入に際しては、簡潔明瞭を旨とし、提案書のボリュームが大きくならないよう配慮してください。***

***注６．提案書の作成にあたり記入上の注意（イタリック体部分）をよく読んでください。また、各項目の記入上のポイントにはアンダーラインを付けていますので、これに沿って提案書を作成してください。***

***注７．提案書の作成にあたり、公募要領を必ず確認してください。提案書の記入内容について注意事項があります。***

***注８．正１部は片面印刷とし、写し１０部は両面印刷としてください。***

***注９．ワードの校閲の項にあるコメント機能を有効にすると提案書作成のヒントが表示されます。***

***提出時にはコメントも削除して下さい。***

***（提出にあたって、本ページは削除してください）***

**チェックリスト（応募時提出書類の確認）**

**１．助成金交付申請に係る提案書(正)　１**部

□1) チェックリスト

□2）提案書受理番号確認票

□3）提案書 (提案書様式)

□4) 助成事業説明書 (添付資料１)

□5) 助成事業実施計画書 (添付資料２)

□6) 研究体制表 (別紙１)

必須＝「助成先における研究体制」は必須。

該当者＝「共同研究先における研究体制」「委員会等における外部からの指導者又は協力者」

□7) 項目別明細表（費用の内訳等） (別紙２)

　　 必須　＝助成先用

　　 該当者＝共同研究先用

□8) 研究開発日程表 (別紙３)

□9) ５か年事業計画表 （別紙４）

□10)事業構想ワンシート説明書 （別紙５）

□11) その他の補助金制度との関係等 (追加資料１)

□12) 事業プランのキーワード (追加資料２)

□13) 利害関係の確認について (追加資料３)

□14) 主任研究者　研究経歴書（提案者のCV）　　　　　　　　　 　(追加資料４)

□15) 非公開とする提案内容 (追加資料５)

□16) 特許の明細書（該当者のみ） (様式なし-添付１)

1件の枚数が多い場合（目安15ページ以上）は、代表的なページ（特許の要約、請求項、発明の効果、図）の抜粋として構いません。

□17) 会社案内　（該当者のみ） (様式なし-添付２)

NEが現在雇用関係を締結している又は経営者として参画している全ての企業・法人  
に関する概要資料（会社経歴書、パンフレットなど）

□18) 在留資格を証明する書類　（該当者のみ） (様式なし-添付３)

提案者が外国籍の場合は、その者が個別に許可された日本での在留資格について、  
NEとして活動開始する日における残りの在留期間が６か月以上あり、かつ国内での  
就労制限がないことを証明できる書類（入国管理局による在留カードの写し等）。

**２．助成金交付申請に係る提案書の写し** **□　10部**

□3）提案書 (提案書様式)

□4) 助成事業説明書 (添付資料１)

□5) 助成事業実施計画書 (添付資料２)

□6) 研究体制表 (別紙１)

必須＝「助成先における研究体制」は必須。

該当者＝「共同研究先における研究体制」「委員会等における外部からの指導者又は協力者」

□7) 項目別明細表（費用の内訳等） (別紙２)

　　 必須　＝助成先用

　　 該当者＝共同研究先用

□8) 研究開発日程表 (別紙３)

□9) ５か年事業計画表 （別紙４）

□10)事業構想ワンシート説明書 （別紙５）

□11) その他の補助金制度との関係等 (追加資料１)

□14) 主任研究者　研究経歴書（提案者のCV）　　　　　　　　　 　(追加資料４)

**３．CD-R** ラベル添付の確認（助成事業の名称、事業者名称）詳細次ページ参照　**□　１枚**

**４．返信用封筒**□連絡先住所、宛名を記載した**返信用封筒**『定形』（８２円切手を貼付）**□１枚**

***・提出書類に不足がないか、上記リストにて提案者自らチェックしてください。チェックしたら□欄にレ点を記入してください。本シートはフォームを崩さないように作成してください。***

***・本制度の趣旨より、一般的なITスキル（PDF生成、ファイル操作）に係る不明点は、基本的にはご自身で解決をお願いいたします。***

***・提案書は、添付書類を含め、全てＡ４サイズとし、各部ごとに縦２穴パンチの上、左上をダブルクリップでとめてください（ホッチキス等で綴じたり、製本したりしないでください）。***

***・様式なし―添付１、２及び３は、元の資料がＡ４版以外の大きさであれば、コピーしてＡ４版としてください。***

***・条件付き採択決定後（2019年7月上旬予定）、該当者について金額精査等必要な調整を行ったのち、「交付規程」で定める「様式第１」により「助成金交付申請」をしていただきます。***

以下のデータを格納したＣＤ－Ｒの提出について

【CD-R提出物】

□「情報項目、提案書様式、別紙1～4」（Excel）

　　ファイル名：提案者名\_情報項目、提案書様式、別紙1～4.xlsx

□「一次審査用ファイル（捺印有）」（PDF）

ファイル名：提案者名\_一次審査用ファイル.pdf

　以下の資料を順番に、１つのPDFファイル形式にまとめたもの(チェックリストの２．助成金交付申請に係る提案書の写しの内容と同一)。書面審査はPDFの閲覧により実施されるので、印字が鮮明である必要があります。つきましては、捺印のあるページ以外は、Word、Excelファイル等から電子的に作成した上で、一つのファイルにすることを推奨します。

□3) 提案書 (提案書様式)

□4) 助成事業説明書 (添付資料１)

□5) 助成事業実施計画書 (添付資料２)

□6) 研究体制表 (別紙１)

必須＝「助成先における研究体制」は必須。

該当者＝「共同研究先における研究体制」「委員会等における外部からの指導者又は協力者」

□7) 項目別明細表（費用の内訳等） (別紙２)

　　 必須　＝助成先用

　　 該当者＝共同研究先用

□8) 研究開発日程表 (別紙３)

□9) ５か年事業計画表 （別紙４）

□10)事業構想ワンシート説明書 （別紙５）

□11) その他の補助金制度との関係等 (追加資料１)

□14) 主任研究者　研究経歴書（提案者のCV）　　　　　　　　　 　(追加資料４)

□16) 特許の明細書（該当者のみ） (様式なし-添付１)

1件の枚数が多い場合（目安15ページ以上）は、代表的なページ（特許の要約、請求項、発明の効果、図）の抜粋として構いません。

　ＣＤ－Ｒには、次に示す項目名と該当事項を記入したラベルを貼ってください（直接記入も可）。受付番号は、ＮＥＤＯで記入します。

ラベル・イメージ

受付番号：（記入不要）

助成事業の名称：***×××××の実用化開発***

提案者名：***○○○○***

【情報項目シートの作成・提出について】

公募情報掲載のＷＥＢページよりダウンロードした「情報項目、提案書様式、別紙1～4」Excelファイルに収められている情報項目シートの「提案者記入列」に必要事項の記入をお願いいたします。

尚、記入にあたっては、提案書及び「情報項目（記入例）」を参考にしてください。

【作成に当たってのご注意】

（１）「提案書参照箇所」や「記入に当たっての注意事項」をよく読んでご記入ください。

（２）自動処理しますので、セルや行の追加削除は行わないでください。

（３）入力内容が画面上に全て表示されていなくても結構です。

（４）各記入項目には図表を含めないでください。

（５）情報項目シートには、別紙2\_項目別明細表（助成先用）の合計を参照しているセルがあります。同表の編集により参照先のセルに変更があった場合には、適宜参照先を修正してください。

（６）情報項目シートを入力することにより、提案書様式を出力することができます。ただし、提案書を印刷する際、印字されない文字がある場合には、行の高さを変更する等適宜修正してください。

（７）下記禁止文字は使用しないでください。

**－禁止文字－**

**・囲み文字 （文字が○などで囲まれている文字）**

**・ローマ数字　（大文字、小文字とも）**

**・単位を表す文字**

**・半角カタカナ**

****例）

「NEDO Entrepreneurs Program(NEP)」

提案書受理番号確認票

　　　提案書発送日：**２０１９**年***○○***月***○○***日

受付番号(NEDO記入)：

提案者名：***○○　○○***

助成事業の名称：***提案書の「１　助成事業の名称」を記入してください。***

連絡先：***提案書の「６　連絡先」を記入してください。***

NEDO受付者印

NEDO受付者印

割　　　　　印

「NEDO Entrepreneurs Program(NEP)」

提案書受理番号確認票

提案者名：***○○　○○***

助成事業の名称：***提案書の「１　助成事業の名称」を記入してください。***

提案書発送日：**２０１９**年***○○***月***○○***日

受付番号(NEDO記入)：

***・***

**【提案書様式】**

***・提案書様式は、「情報項目、提案書様式、別紙1～4.xlsx」の情報項目シートにデータを入力する事でも、自動出力できます。***

２０１９年　　月　　日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

　理事長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　提案者　　　　〒

住所　　***神奈川県川崎市・・□□□***

氏名　　***根戸　太郎***

　　　　印

２０１９年度　NEDO Entrepreneurs Program(NEP)交付申請に係る提案書

（・・***助成事業名***・・）

　上記の件について、NEDO Entrepreneurs Program(NEP)助成金の交付を受けたいので、NEDO Entrepreneurs Program(NEP)助成金交付規程第７条第１項の規定に基づき下記のとおり提案します。

記

　１　助成事業の名称

***・事業内容が判る短く簡潔な名称とし、３０字以内としてください。「」はつけないでください。***

　２　助成事業の概要

***・助成を提案する事業内容を、１５０字以内厳守で要領よく記入してください。***

***・Web公開する場合がありますので、対外的に公表して問題ない内容としてください。***

　３　助成事業の総費用　　　　　　　　円

***・助成事業期間全体で必要となる「助成事業に要する費用」を記入してください。***

***・本様式を含み、提案書に記入の費用は全て“消費税抜き”にて記入してください。***

***・5,225,360円のように円単位で記入してください。***

***・「別紙2\_項目別明細表（助成先用）」（助成事業経費内訳表）の金額と一致するよう、注意してください。***

４　助成金交付提案額　　　　　　　　　円

***・助成事業期間全体で必要となる「助成金の額」***

***・5,000,000円のように千円単位で端数切り下げの金額を記入してください。***

***・「別紙2\_項目別明細表（助成先用）」（助成事業経費内訳表）の金額と一致するよう、注意してください***

　５　助成事業の開始及び終了予定年月日

　　　　　開始年月日　　　　　　 交付決定通知書に記載する事業開始の日から

　　　　　終了予定年月日　　　2020年2月29日

６　連絡先

提案者（主任研究者）

所属

役職・氏名

郵便番号、住所

電話番号

ＦＡＸ番号

Ｅメールアドレス

緊急連絡先

氏名

郵便番号、住所

電話番号

Ｅメールアドレス

***・緊急連絡先は、提案者以外の人を記載してください。共に活動する研究員の方でも構いません。***

（注）

　　１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４判とすること。

（添付資料１）

助　成　事　業　説　明　書

（事　業　化　計　画　書）

**１．想定する事業の概要**

・どのような事業をしようとしているのか。顧客のペイン(必ず解決しなければならない強いニーズのある課題)と御社のソリューション（そのペインの解決策）、だれが代金を払うのか(見込み顧客)などを簡潔に記入してください。

1. **本事業を始めるきっかけ、動機、目的**

***・事業化を目指した背景について記入してください。***

***・なぜ、自分たちが事業を進めるのか。なぜ、今のタイミングか等含めてください。***

1. **解決すべき課題／市場ニーズ／ターゲット顧客**

***・本事業の背景となる解決すべき課題や顧客やユーザーが有するニーズ（いずれも具体的に調査したものが望ましい）について記載してください。当該課題解決の重要性についても記載して下さい。***

***・ターゲット顧客について：***

***＊提供する技術、サービス、商品に対して、実際にお金を払う顧客をなるべく具体的に（例えば企業向けであればターゲット企業の業種、企業規模等の属性やターゲットとなり得る顧客数の見込み等を含めて）記載してください。また、その顧客がなぜお金を払うのかを記載してください。***

***＊そのターゲットを狙った場合に市場規模はどの程度になるのかについて記載してください。***

1. **提供する技術、サービス、商品（具体的アプリケーション）と提供対象**

***・技術シーズを元に、誰に対してどのようなサービスや商品を提供するのか、提供する技術、サービス、商品を通じて課題やニーズがどう解決されるのかを具体的に記載してください。***

1. **技術シーズの概要**

***・本事業の基盤となる技術シーズの概要と現時点での成熟度（ラボレベル、試作段階（プロトタイプ）、製品化段階など）を記載してください。本項目では専門用語をなるべく避け、多くの人が理解できる内容としてください。***

1. **技術の詳細**

***・読み手に当該分野の前提知識があるとして、技術シーズの特徴をより詳しく記載してください。***

1. **類似技術の状況（競合分析）**

***・提供する技術、サービス、商品の先行事例や類似技術について、その状況を記載してください。直接的な競合だけではなく、課題の解決やニーズの充足が期待できる別の方法（間接的な競合）についても、可能な限り記載してください。***

1. **事業の優位性及び期待される効果**

***・本事業で提供する技術、サービス、商品が競合と比較して優れているポイント、あるいは競合が抱える課題（要求スペック・価格等）を記載し、いかに市場での競争に勝っていくのかを記載してください。***

1. **利益モデル**

***・本事業における、顧客、エンドユーザーを含むステークホルダー（ビジネス上の関係者。たとえば、原料調達先や外部委託先、代理店など）を整理し、お金の流れを記載してください。また各ステークホルダーとすでに関係性がある場合は、記載可能な範囲でその程度を具体的に記載してください。***

1. **事業化プロセス**

***・黒字転化する時期までを目途として、資金計画や人員計画、リソースの調達など、事業化に向けたアクションを記載してください。***

1. **事業における課題**

***・現時点から事業の立ち上げにあたって、充足されていない要素（課題）を記載してください。***

1. **事業課題の解決方法**

***・上記の事業における課題を解決するために必要なリソース（資金、設備、人員、アライアンス先、など）を記載してください。アライアンス先であれば実際の企業名など、なるべく具体的に記載してください。***

（添付資料２）

助成事業実施計画書

１　研究開発の体制等

1. 研究体制図

***・助成事業を遂行する体制（役割分担）を具体的に記入してください。  
共同研究先がある場合、提案者と共同研究等の相手先（大学などの研究機関等と事業会社）とのそれぞれの役割が分かるように記入してください。事業会社が複数の場合には、主たる連携先１社を記してください。***

***・図中に、研究者の氏名・役割分担　を記入してください。***

***例＞　研究員Ａ　根戸次郎　試作品の分析評価***

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　助成費用の対象外

　　　　　　　 研究員A　　　　 　　研究員B　　 　 　　 研究員1　　研究員2

　　　　　　　 　　　(氏名)　　　　　　　 (氏名)　　　 （氏名） （氏名）

　　　 　 (役割) 　　 (役割)　　　 (役割) (役割)

提案者又は提案者のチーム

研究員a　研究員b、研究員ｃ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（氏名）　(氏名) (氏名)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (役割) 　(役割) (役割)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　共同研究先

研究開発体制図

***主任研究者と共にチーム登録可能な研究員は、本人を含めて最大３名までです。***

***大学など学術機関の共同研究先についても、研究員の登録は最大３名です。***

***NEPでは労務費は計上対象外ですが、研究活動に係る旅費計上の際は、研究員登録が必要となります。***

***事業会社は助成費用の対象外ですが、事業の全体像を示すために記載してください。***

　　(２) 助成先における研究体制（別紙１）

　　(３) 共同研究先における研究体制（共同研究先がある場合は記入）（別紙１）

***費用計上可能な共同研究先は１機関のみで、なおかつ大学などの学術機関に限ります。***

　各組織の役割

　　　(a)　全体の目標

(b)　提案者（主任研究者）の役割

(c)　共同研究等の相手先の役割と協力項目

(d)　本助成事業に関わる共同研究等の成果の取扱い（特に知的財産権の帰属）

　　(４) 委員会等における外部からの指導者又は協力者（該当時は記入）（別紙１）

***外部指導者又は協力者の活動について、旅費計上をする場合は必須です。***

２　助成事業に要する費用の内訳等

　　項目別明細表（助成先用）　 （別紙２）***←必須***

　　項目別明細表（共同研究先用）（別紙２）***←共同研究先がある場合は提出***

３　これまでの開発の経緯

1. これまでの開発状況の概要

***・これまで、何を目指して、何処まで研究開発が進んでいるのかを記入してください。***

***・実用化の基となる技術を生み出したプロジェクト等があれば記入してください。***

***・本事業に関連する既存技術において、受賞歴があれば記入してください。***

（２） 研究開発の独創性・新規性の根拠

① 実用化の基盤となる技術、取得特許、ノウハウ等の内容

***実用化の基盤となる技術、これまで開発したコア技術を説明してください。***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特許の名称  （最新状況） | 出願番号（出願日）  （公開、公告、登録のうち最新のもの） | 出願人 | 発明者 | 係争の  有無 | 明細書等の写し |
| *○の装置*  *（特許取得済）* | *特許第▲▲号*  *（登録日H▲．▲．▲）* | *◇◇*  *株式会社* | *根戸太郎*  *根戸次郎* | *無し* | *添付1*  *特許１* |
| *△の方法*  *（審査請求中）* | *特願××××－××××××*  *（H▲．▲．▲）* | *◇◇*  *株式会社* | *根戸太郎* | *無し* | *添付1*  *特許２* |

***・特許の最新状況については、「審査請求中」、「特許取得済み」等を記入してください。***

***また、特許の出願人及び発明者（提案書に記入されている全員）を記入してください。***

***・自社特許でない場合、基となる特許の使用許諾を受けているか、あるいは占有実施権の有無を記入してください。***

***・明細書等（要約でも可）を添付する場合には、添付1としてください。***

***・できる限り資料が厚くならないように工夫してください。***

②　国内外他社における関連特許の取得状況と、ご自身の特許の回避状況

***・国内外他社における関連特許の取得状況を記入してください。また、①に記入した特許、ノウハウ等との相違について、権利侵害の可能性を含めて記入してください。***

４　事業期間における助成事業のPoC（Proof of Concept（概念実証））

　　(１) PoC

***・本プログラムでは、起業及び事業の加速活動（ビジネスプラン作成、市場調査、試作品設計・製作など）を実施していただきます。  
起業家候補人材には、技術シーズの原理確認又は市場でのニーズ確認（Proof of Concept; 以下「PoC」という。）に係る資金（労務費を除く）、事業化のためのビジネスプラン構築に係る研修・個別メンタリング、ビジネスプランの発表及び投資家や事業会社とのマッチング機会を提供することで、研究開発型ベンチャーの起業促進及び事業化加速を目指します。***

***・PoCの内容及びPoCの検証手段を、下記に記載してください。（最小２～最大４項目）***

***・提案の時点では定性的な記述でも構いませんが、もし可能であれば定量的な情報も記載してください。仮採択された場合は、本提案の間までにさらにブラッシュアップする機会があります。***

***・調査研究の一環で展示会出展を予定している場合は、そこで、調査又は実証試験をどのように進め、どのような結果を得ようとしているのかを、「５　事業期間における研究開発の内容」に具体的に記入してください。***

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 助成事業期間中のPoC項目・目標 | PoCの検証手段 |
| **PoC1** | ***●●に関して、反応効率９０％以上を達成できる触媒を定する。*** | ***パイロット実験システムを構築。候補とする触媒●、▲、■などを対象として検証する。*** |
| **PoC2** | ***生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。*** | ***生成物重量比、反応温度、撹拌速度について最適な反応条件を探索する。*** |
| **PoC3** | ***物質●●の市場性を、■■分野について調査確認する。また市場については、日、米を中心に調査する。*** | ***●●分野のメーカーなどを中心に、市場調査を行う。また、物質●●を使用した最終製品のエンドユーザーヒアリングを行う。*** |
|  |  |  |

1. 上記目標設定の理由（国内外における技術動向や既存の製品との関連等について説明すること。）

***・上記目標の設定理由と達成手段を箇条書きで記入してください。***

***・記入にあたって、明確（達成できるレベルを数値により定量的に）かつ簡潔に記入してください。***

***・国内外の競合技術との比較や、ユーザーが要望する製品スペックとの関係等についても説明してください。***

５　事業期間における研究開発の内容

　　（４-(１)のＰｏＣを達成するために必要な研究開発の内容を説明すること。）

* ***「事業期間における助成事業の目標」に記載した実用化開発項目（技術課題）について、「別紙３　研究開発日程」を記入するとともに各項目の内容を具体的かつ詳細に記入してください。***
* ***目標を達成するために共同研究先の研究機関が果たす役割を具体的かつ詳細に記入してください。***
* ***ユーザー評価を研究開発に反映させる目的で一部研究開発成果を反映した無償によるサンプル出荷、又は製造原価以下による販売等を行う場合には、その計画とねらいについても具体的に記載してください。***
* ***技術課題各々の克服手段について、できるだけ図表を用いてわかりやすく記入してください。***

***PoC１：　　●●に関して、反応効率９０％以上を達成できる触媒を選定する***

***課題：　　・・・・・・・***

***克服手段：　　実用化開発項目 ア）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***実用化開発項目 イ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***PoC２：　　生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。***

***課題：　　・・・・・・・***

***克服手段：　　実用化開発項目 ウ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***PoC３：　　物質●●の市場性を、■■分野について調査確認する。・・・・***

***課題：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***克服手段：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

６　共同研究（ある場合にのみ記入してください。）

1. 共同研究先の研究テーマ及び内容（役割分担を含む。）

***（この事業を進めるに当たり、共同研究先のテーマ、内容及び役割の詳細を記載してください。）***

1. 研究成果利用

***（共同研究の技術開発成果を御社は今後の事業化にどのように活用するのかを記載して下さい。）***

７　事業期間中の研究開発日程

　　（別紙３　研究開発日程表に記載）

８　５年間の事業計画

　　 (別紙４　５か年事業計画表に記載）

９　助成事業に要する資金及び費用の内訳

　 　（単位：円）

助成事業の総費用　　　　 　円***（Ａ）と同額　（提案書の「３　助成事業の総費用」）***

助成金交付提案額の総計　　　　円***（Ｂ）と同額　（提案書の「４　助成金交付提案額」）***

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 費目 | 金額 |  |
| 支  出 | Ⅰ．機械装置等費 | *900,000* |  |
| Ⅱ．労務費  （助成対象外） |  |  |
| Ⅲ．その他の経費 | *4,000,000* |  |
| Ⅳ．委託費・共同研究費 | *800,000* |  |
| （Ⅰ～Ⅳ）合計 | *5,700,000* | ***（Ａ）*** |
|  |  |  |  |
| 収  入 | Ⅰ．自己資金 | *700,000* |  |
| Ⅱ．借入金 | *0* |  |
| Ⅲその他の収入 | *0* |  |
| （Ⅰ～Ⅲ）小計 | *700,000* |  |
| Ⅳ．助成金交付提案額 | *5,000,000* | ***（Ｂ）*** |
| （Ⅰ～Ⅳ）合計 | *5,700,000* |  |

（注）　助成金交付提案額については、千円未満の端数を切り捨てること。

　　　　　　　助成事業開始から終了までの開発費を記入してください。

* 例示した金額をご自身のプランに合わせて修正し、黒文字で記入してください。
* 事業に要する費用総額の内、500万円を上限にNEDOが助成するという考え方です。
* この表とは別に、Ⅳ助成金交付提案額に係る消費税分（50万円）を用意して、交付決定前に管理法人へ預ける必要があります。
* 「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。
* 助成金提案額については千円未満の端数を切り捨てた金額を記入してください。
* 収入の合計欄の金額と、支出の合計欄の金額は一致します。  
  「別紙２\_項目別明細表（助成先用）」の金額とも一致していることを確認してください。
* I.機械装置等費は取得価格が10万円以上かつ1年以上使用可能なものです。NEPでは、この費目は単価50万円以上（税抜）は費用計上できません。  
  取得価格が10万円未満、又は使用可能期間が1年未満のものは「Ⅲ．その他の経費」に計上します。
* IV.委託費・共同研究費は、助成対象費用の額の50％未満です。

t

　　　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４判とすること。

別紙１

研究体制表

助成先における研究体制



***・公募ページに公開されているExcelファイル（情報項目、提案書様式、別紙1～4.xlsx）内の様式を使用してください。***

***・グレーの部分は（提案書提出の時点では）記載不要です。***

***・仮採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、申請書提出の時点までに修正が可能です。***

別紙１

研究体制表

共同研究先における研究体制



***・計画に、共同研究先がある場合は、記載してください。無ければ記載不要です。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル（情報項目、提案書様式、別紙1～4.xlsx）内の様式を使用してください。***

***・グレーの部分は（提案書提出の時点では）記載不要です。***

***・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、申請書提出の時点までに修正が可能です。***

別紙１

研究体制表

委員会等における外部からの指導者又は協力者



***・必要があれば、記載してください。無ければ記載不要です。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル（情報項目、提案書様式、別紙1～4.xlsx）内の様式を使用してください。***

***・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、申請書提出の時点までに修正が可能です。***

別紙２

項目別明細表（助成先用）



***・公募ページに公開されているExcelファイル（情報項目、提案書様式、別紙1～4.xlsx）内の様式を使用してください。***

***・提案書の提出時点では、推定値や概算情報でも構いません。***

***・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、申請書提出の時点までに修正が可能です。***

・「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。

・「助成事業に要する経費」はこの助成費用を進めるに当たり必要な費用、「助成対象費用」はその内の助成対象としてNEDOに計上する費用を記入してください。

別紙２

項目別明細表（共同研究先用）



***・計画に、共同研究先がある場合は、記載してください。無ければ記載不要です。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル（情報項目、提案書様式、別紙1～4.xlsx）内の様式を使用してください。***

***・採択された場合は、カタライザーとのメンタリング期間中に計画をブラッシュアップし、申請書提出の時点までに修正が可能です。***

別紙３

研究開発日程表

***事業実施期間に合わせて、適宜罫線を足してください。***

添付資料１

様式１

助成事業要旨

様式１

チェック

リスト

その他

事業の説明に必要な資料

***（添付資料２）助成事業実施計画書「４　事業期間における助成事業のPoC」の目標や備考を記入してください。***

***（添付資料２）助成事業実施計画書「４　事業期間における助成事業のPoC」の項目ごとに、適宜ブレークダウンして、スケジュールを記入してください。***

添付資料１

様式１

助成事業要旨

様式１

チェック

リスト

その他

事業の説明に必要な資料

別紙４

５か年事業計画表



***（添付資料２）助成事業実施計画書「４　事業期間における助成事業のPoC」を参考にして目標や備考を記入してください。***

***（添付資料２）助成事業実施計画書「４　事業期間における助成事業のPoC」を参考にして、開発項目ごとにスケジュールを記入してください。***

***事業実施期間に合わせて、適宜罫線を足してください。***

添付資料１

様式１

助成事業要旨

様式１

チェック

リスト

その他

事業の説明に必要な資料

別紙５

NEP 事業構想ワンシート説明書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 提案者名［ふりがな］ | | ***根戸 太郎　［ねど　たろう］*** | |
| 登録研究員A,B（該当時） | | ***川崎 花子［ねど　はなこ］、ミューザ 次郎［みゅーざ　じろう］*** | |
| 会社設立予定日（任意） | | ***20●●年●月●日*** | |
| 助成事業の名称 | | ***［提案書様式］の「助成事業の名称」に記入したものを転記。*** | |
| 助成事業の概要 | | | |
| ***・［提案書様式］の「助成事業の概要」に記入したものを転記。１５０字以内を厳守してください。***  ***・このセルは、対外的に公表して問題ない内容としてください。*** | | | |
| I．事業化内容 | | | |
| ***助成事業説明書に記載の、下記項目を基にして、要旨を記載してください。***  ***・解決すべき課題／市場ニーズ／ターゲット顧客***  ***・事業の優位性 又は　利益モデル***  ***・事業化プロセス*** | | | |
| II．技術内容 | | | |
| ***助成事業説明書に記載の、下記項目を基にして、要旨を記載してください。***  ***・提供する技術、サービス、商品（具体的アプリケーション）と提供対象***  ***・技術シーズの概要***  ***・実施内容及び方法***  ***・類似技術の状況（競合分析）*** | | | |
| III．その他 | | | |
| ***当該技術開発により見込まれる効果及びそのアピールポイント等を記載してください。*** | | | |
| 技術分野 | □環境・エネルギー　□電子・情報通信　□ライフサイエンス　□ロボティクス  □材料・ナノテクノロジー　□航空・宇宙　□その他（　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| 技術シーズは大学や公的研究機関発か？ | | | □はい（機関名：　　　　　　　　　　　　）□いいえ |

***このシートは今まで記載した詳細な内容を基にして情報を圧縮し、A4、１枚（最大2ページまで可）の制限の中で、事業のエッセンスを（エレベータピッチの要領で）記載してください。***

***このページは、カタライザマッチングのピッチの際、カタライザに開示します。（この時、カタライザが閲覧できる紙の資料は、このページだけです。）***

【追加資料１】

その他の補助金制度との関係等

１．補助金制度等による受給の有無

（１）補助金制度等による受給を受けた事業（提案時点で補助金を受け実施中の内容も含む。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施機関の名称 | *▲▲省* |  |
| 制度の名称 | *平成○○年度××開発補助金* |  |
| 採択者名称 | *（提案者及び提案者が所属する組織など。）* |  |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |  |
| 対象期間 | *（西暦）　年　月　日　～（西暦）　　年　月　日* |  |
| テーマ名 | *～～の開発* |  |
| 補助金額 | *○○円* |  |
| 事業の概要  （目標・成果） | *詳しく、明瞭に記述してください。* |  |
| 本提案との差異 | *本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。* |  |

* ***提案者及びメンバーが関わっていた制度についての確認です。***
* ***当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発で国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等からの委託（再委託を含む）又は補助金交付を受けたことがある場合、その概要を記入してください。***
* ***複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入してください。***
* ***無い場合には、「無し」と記入してください。（「無し」の場合、表は削除してください。）***
* ***記入内容としては、実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金の額、成果（特に実用化した場合の事業展開）、本提案との差違を記入してください。***
* ***記入等の不備により、類似・同一の研究開発で補助金等の受給が判明した場合は、虚偽の提案として審査の打ち切り、交付決定後の場合でも交付決定の取り消し等を行うことがあります。***
* ***なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。***

（２）補助金制度等による受給を提案中又は提案予定の事業

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *▲▲省* |
| 制度の名称 | *平成○○年度××開発補助金* |
| 提案者名称 | *◇◇（提案者及び提案者が所属する組織など。）* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *（西暦）　年　月　日　～（西暦）　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 事業の概要  （目標） | *詳しく、明瞭に記述してください。* |
| 本提案との差異 | *本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。* |

* ***当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発を、国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等に現在申請中、あるいは申請を予定している場合、その概要（実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金の額、目標、本提案との差違等）を記入してください。***
* ***複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入してください。***
* ***無い場合には、「無し」と記入してください。（「無し」の場合、表は削除してください。）***
* ***なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。***

２．過去にＮＥＤＯ等で実施した事業との関係

本提案が、過去にＮＥＤＯ等で実施した研究開発事業の成果を活用したものであり、本提案の助成事業を実施することにより、その成果の実用化が加速すると考えられる場合には以下に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *NEDO* |
| 制度の名称 | *平成○○年度××開発補助金* |
| 採択者名称 | *◇◇（提案者及び提案者が所属する組織など。）* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *（西暦）　年　月　日　～（西暦）　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 本提案との関係 | *詳しく、明瞭に記述してください。* |

【追加資料２】

事業プランのキーワード

(1)技術キーワードとして、当該実用化開発（自社が開発しようとしている内容に関連する　　　最も重要と思われる技術）の「キーワード」を重要なものから順に記入してください。

＜キーワード集＞「別添」から必ず１つは選択し、その該当数字をキーワードの前につけて記入してください。

＜キーワード集＞「別添」に無いキーワードは、本欄に記入せず、（３）フリーキーワードに記入してください。

(2)事業化キーワードとして、製品分野･サービス展開上のキーワードを記入してください。

(3)フリーキーワードとして、(1)～(3)以外の語句を記入してください。

＜重要＞

記入されたキーワード（特に（１）技術キーワード）は、申請内容を評価する外部専門家を、適切な専門分野から選定する際の必須情報として用います。必ず記入してください！！

（１）技術キーワード（２つ以上必ず記入すること）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| (1) |  | (2) |  | (3) |  |
| (4) |  | (5) |  | (6) |  |

（２）事業化キーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例：ユビキタス社会*** | ***例：街頭広告*** |  |

（３）フリーキーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例：３Ｄ画像技術*** |  |  |

４．専門用語の解説

***・提案書に記載された専門用語について、特に必要と思われるものについて、簡単に説明してください。***

【追加資料３】

利害関係の確認について

* NEDOは、採択審査に当たり大学・研究機関・企業等の外部専門家による採択審査委員会を開催します。この採択審査委員会では公正な審査を行うことはもちろん、知り得た提案情報についても審査以外の目的に利用することを禁じております。
* さらに、採択審査委員の選定段階で、NEDOは利害関係者を排除すべく細心の注意を払っているところですが、さらに採択審査委員本人にも事前に確認を求め、より公平・公正な審査の徹底を図ることといたしております。
* そこで、提案者の皆さまには、採択審査委員に事前提供する情報の記載をお願いいたします。本書類にていただいた「提案者名」、「研究開発テーマ」及び「技術的なポイント」を採択審査委員に提示し、自らが利害関係者、とりわけ競合関係に当たるかどうか、の判断を促します。技術的なポイントについては、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを問題ない範囲で記載いただけますようお願いいたします。
* また、NEDOが採択審査委員を選定する上で、利害関係者とお考えになる者がいらっしゃる場合には、別紙の記載欄に任意で記載いただいても構いません。なお、採択審査委員から、利害関係の有無の判断がつかないとのコメントがあった場合には、追加情報の提供をお願いする場合がございますので、御協力をお願いいたします。

|  |
| --- |
| （提案者名）  ***○○　○○*** |

|  |
| --- |
| （研究開発テーマ）  ***○○の研究開発*** |

|  |
| --- |
| ***（技術的なポイント）*** |

利害関係のある一次審査評価者

整理番号 ***(ＮＥＤＯにて記入しますので、空欄としてください)***

提案者名　　　　　　　　　　　　　　　***(提案書の提案者名称と一致させてください)***

助成事業の名称　　　　　　　　　　　　　***(提案書の「１　助成事業の名称」と一致させてください)***

利害関係のある評価者

***・ＮＥＤＯ　ホームページ　掲載の「外部評価委員候補一覧」から利害関係の*ある評価者を検索し、記入してください。**

***・利害関係のある評価者が該当しない場合は、「無し」を記入してください。***

評価者名（１）／機関名（１）：

理由（１）：

評価者名（２）／機関名（２）：

理由（２）：

評価者名（３）／機関名（３）：

理由（３）：

評価者名（ｎ）／機関名（ｎ）：

理由（ｎ）：

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  | 経歴書作成日： | | 【追加資料４】 | | |
| 主任研究者　研究経歴書 | | | | | | | | | | | |
| 氏名 | | | |  | | | | | | | |
| フリガナ | | | |  | | | | | | | |
| 生年月日（西暦） | | | |  | | | | | | | |
| 所属研究機関のe-Rad研究機関コード（10桁） (所属研究機関の主任研究者は必須。) | | | |  | | | | | | | |
| e-Rad研究者番号（8桁） （所属研究機関の主任研究者は必須。代表者以外は不明または保有していない場合は省略可） | | | |  | | | | | | | |
| 所属 | | | |  | | | | | | | |
| 部署名 | | | |  | | | | | | | |
| 役職名 | | | |  | | | | | | | |
| 所属機関の研究者代表 （該当：１　非該当：２） | | | |  | | | | | | | |
| 最終学歴 | | | |  | | | | | | | |
| 学位 | | | |  | | | | | | | |
| 学位取得年（西暦） | | | |  | | | | | | | |
| 研究開発経歴（西暦　※現職含む） | | | | | | | | | | | |
|  | 年 | ～ | 年 | 研究開発内容 | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
| 受賞歴（西暦　※年月） | | | | | | | | | | | |
|  | 年 | 月 |  | 主催者名 | 表彰制度名称 | 受賞名称 | 受賞件名 | | | | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
| 当該研究開発に関連する最近5年間の成果等（各主要なもの10件以下） | | | | | | | | | | | |
| 論文 | 発行年 | 月 |  | 主な著者１ | 著者２ | 著者３ | 表題 | 論文雑誌名 | 巻（Vol.） | 号 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究発表 | 発表年 | 月 |  | 主催者名 | イベント名 | 発表者 | 発表タイトル | | | | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
| 特許等 | 出願年 | 月 | 日 | 出願番号 | 登録番号 | 発明等の名称 | | | | | 備考 |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
| その他 | 年 | 月 |  | タイトル | 自由記述 | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
| 本研究開発プロジェクトにおける役割 | | | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | | | |

* 研究開発等実施体制の審査のために利用されます。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

【追加資料５】

**秘密**

非公開とする提案内容

***評価時に非公開としたい内容がある場合には、本用紙にその内容を記入してください。***

***非公開としたい内容がない場合には、「非公開としたい内容がない」旨を一文明示してください。本用紙に記載された内容は、委員の評価を含め、外部には公表されません。ＮＥＤＯ内部で行う選定の判断にのみ使用します。なお、提案書及び添付資料1 ,2 は、評価者が内容を確認しますので、非公開としたい内容は省いておいてください。ただし、非公開の内容が多くなりますと、評価者の判断材料が不足し、評価が低くなるおそれがありますので注意してください。***

整理番号　　***（ＮＥＤＯ にて記入しますので、空欄としてください）***

提案者名称

助成事業の名称

（添付資料1）

（添付資料2 ）

（その他）

（注）用紙の大きさは、日本工業規格A 列4 判とし、縦位置とすること。